

ケアマネ かわら版

2016年

4月号

Vol.49

松江地域介護支援専門員協会

〒520-0844
松江市東区大津 115-92
TEL (0952) 31-6900
FAX (0952) 31-6902

ブロック連絡会に関わって ～3年未満ケアマネ研修会の先に～

松江地域介護支援専門員協会 井上 龍一

介護支援専門員協会役員として、包括支援センターが主催するブロック連絡会『3年未満ケアマネ研修会』の企画から関わらせていただきました。一言に「3年未満ケアマネ」と言っても、基礎資格が様々で、年齢層も様々。勤めている事業所の規模、人員等も様々です。所謂、独りケアマネ事業所もあります。研修会はざっくばらんな雰囲気、新人ケアマネジャーの繋がり作り、関係づくりの要素が大きく、グループあちこちから賑やかな話声が聞こえます。定期的で開催されていますので、リピート参加者も多く、参加しやすい研修会です。研修会後は、「ざっくばらんにいろいろな話ができて、不安や悩みを話せた。」「他事業所のケアマネジャーと意見交換できて良かった。」「ケアプラン作成が大変」「主治医との連携に悩む」等の意見や感想がアンケートに寄せられました。

研修会のテーマとして、参加者側は「実務経験年数の少ないケアマネジャーの繋がり作りや、仲間作りの機会」、主催者側は「今後の支援のため、疑問や悩みごとを集約する機会」と考えていましたので、双方ともに概ね満足できる結果となりました。

今後の課題としては、日常業務に具体的に活かして実践できる内容の研修会を開催することでしょうか。ケアマネジャーの繋がり、仲間作りに加え、ケアマネジメント技術のレベルアップも図らなければなりません。

私自身、以前は参加者側として研修会に出席しましたが、今回は主催者側に立場を置いて研修会に関わらせていただきました。新しい物事に挑戦することで、これまでは関心が無かった事について想像力を働かせたり、思いもつかなかったようなクリエイティブな発想を求められたり、とても沢山の刺激を受けることができたと思います。

少し話題が逸れますが、思い起こせば2年前のかわら版4月号でも他職種連携の話からケアマネジャーの繋がりについて記事を書きました。えーと、確か…「若手ケアマネジャー同士のネットワークを作って、ベテランを支え、新人を引っ張るケアマネジャーに皆で成長しよう!」みたいな内容だったと思います。現在でも若手ケアマネジャー(?)達は不定期開催の飲み二ケーションで親睦を深め、着々とネットワークを広げています。顔馴染みの関係づくりからの紹介⇒紹介で、毎回「初めまして!」の顔ぶれ参加を嬉しく思っています。ウェルカム!

最後になりますが、これから訪れるであろう超高齢化社会へむけて、私達は常に新しい情報に関心をもちながら、様々な状況変化をイメージして対応できる能力が求められます。大変だけど、ケアマネジャーには大きな感動があります。これからはすばらしい仲間とともに悩んだり、葛藤したり、切磋琢磨していきましょう!

「ケアマネ・訪問看護合同研修 ～訪問看護協働の視点について～」

島根県訪問看護ステーション協会 松江支部 支部長 森山 さとみ

平成28年1月9日、第2回目のケアマネ協会と訪問看護の合同研修が開催されました。今回のテーマは「入退院を繰り返す事例」を、職種の視点の違いを理解することを目的に、検討を行いました。

グループワークは、始めにケアマネと訪問看護師に分かれたグループで行い、後に合流し再度グループワークをしていきました。訪問看護のグループでは、視点が医療情報の整理、現在の病状の把握から入り、この内容に時間を取った形となりました。そもそも看護職は教育課程から、その病態の把握理解とその病状の過程、維持回復を学び、計画を立てその療養環境とケアを仕事として教えられています。それゆえ、病態が分からないと、「プランに進まないでしょ」というところなのです。

私は、数年前まで、訪問看護に片足突っ込みながら10年近くケアマネをしていましたが、あまり人のプランを見る機会はなく、訪問看護一本となってからは、様々なプランを見せて頂くようになりました。最近は福祉系のケアマネが多く、福祉と言えば、困った人を助けるというところが根底にあり、そういった方々は優しい人が多く、実に真面目な方が多いと個人的には感じています。そこで、プランの中では生活面と、これからというより現在困っていることに焦点が当たりやすい様に感じたところでした。

介護保険での介護を必要とする状態の方は、何かしらの疾患や障害を持っておられます。そして、最近の医療の動向では、

入院期間の短縮に伴い早期に退院し在宅療養となることが多くなっています。今後も時代の流れにより、医療依存度の高い方や病状の不安定な方、老々介護、認知症・独居など困難な事例も多くなっていきます。

看護師は、病院勤務の医療現場では簡潔明瞭に正確な情報を伝えることが求められ、その為看護師は往々にして早口で若干?きつい話し方になりがちのようです。その為、会話に閉口されることもあるかと思いますが、ケアマネの皆様との良い関係と更なる連携なくしては、利用者家族の方々の、気持ち良く穏やかな、その人らしい生き方のお手届きは難しいと思っています。私たち訪問看護師も、チームの中でしっかりと役割を果たせる様に、更なる研鑽をつんでいきたいと思っています。

今回この研修で共にいろいろな話しができ、もっと話したいと思いつつ終了しましたが、仲よく良い連携を図り、同じ志を持つ同志として共に良い仕事ができますようにと願うところです。今後とも、よろしくお願いいたします。



ケアマネジメントかえで 介護支援専門員 松崎 大輔

平成28年1月9日(土)、島根県訪問看護ステーション協会松江支部・松江地域 介護支援専門員協会主催の第2回「ケアマネ・訪問看護 合同研修会」に初めて参加させて頂きました。

今回は～退院に向けてのアセスメント等について、グループワークを通じて検討する～と題し、事例(73歳・男性、要介護2誤嚥性肺炎にて入退院)に対して「職種別グループワーク」と「混合グループワーク」の二部構成で行われました。

「職種別グループワーク」ではケアマネジャーと訪問看護師が別々のグループでそれぞれに事例に対するリスクと課題等を検討、検討内容をプランシートに落とし込み、見える化する作業を実施。在宅復帰するにあたり、グループで行ったアセスメントから抽出した生活課題を社会資源へと繋げる作業では、個々のケアマネジャーごとに優先順位は若干の相違はあっても、大枠は一緒に「病気の再発防止(予防)」、退院後の「活動・参加」、家族介護が再開する為「環境因子」等を課題と捉え、支援の方向性が決まりました。

職種別グループワークを客観的な視点で見た時に、ケアマネジャーは(私自身を含め)「本人(ご家族)の生活歴や意向、語り」を基本とした分析であったように思いました。

混合グループワークでは、ケアマネジャーの分析結果に訪問看護師による分析(アセスメント)が加わる形となり、互いに「暮

らしの継続」という視点は一緒でしたが、「入院を機にこれまでの生活を見直す(家族への働きかけ)」「入院期間でのリハビリ評価(生活レベル)を各専門職から確認する」「場合によっては入院期間の延長を検討する」等、ご本人が医療機関から在宅へ再び戻るにあたって訪問看護師としての「橋渡し」方法、医療機関側との関わり方を具体的に知る事が出来ました。これは福祉職ベースのケアマネジャーである私にとっては、退院時アセスメントの視点とご家族への働きかけの方法を知る機会となりました。

また、今回のような研修・グループワークを通じて、ケアマネジャーと訪問看護師がアセスメントを共同で行う事は互いの思考過程から具体的な関わり方、在宅へ移行する際の視点を知る事が出来、研修後の実務においても有効であると感じました。

訪問看護師は「身体管理を中心とした医療」を提供し、「生活のしやすさ」を追及され、ケアマネジャーはこれまでの生活～入退院～その後の生活まで関わる「人生に寄り添う」事を追求、支援する役割である事も再確認する事が出来ました。

「視点が違う」事が多職種連携においては重要で、違う事がお互いを高め合える関係性であると学ぶ事が出来ました。次年度・第3回の研修にも是非、参加したいと思っています。

第12回 医師とケアマネジャーの合同研修会

松江地域介護支援専門員協会 制度調査部 鳥谷 久美子

平成28年1月27日、医師とケアマネジャーの合同研修会が開催されました。

今回は「感染症に対する医療と介護の連携」をテーマに、鳥取大学医学部付属病院感染制御部の教授である千酌浩樹先生をお招きし、地域での感染予防とその対策についてや感染症発生時の対応について御講演いただきました。早いもので第12回目となる今回は、時期的にタイムリーな話題とあってか、約170名もの参加がありました。また、参加職種も感染症認定看護師、検査技師、薬剤師、歯科衛生士、歯科医師などの他職種に渡り、関心の高さを伺う事が出来ました。

先生からは、感染対策の基本である標準予防策から、ノロウイルス・インフルエンザ・結核など身近に起こりうる感染症ごとの感染経路別予防策や隔離解除のタイミングなど、現場の写真を見せても分かりやすく丁寧に説明して頂きました。

高齢者施設では、ESBLなどの耐性菌患者は受け入れを拒否される事が多いが、具体的な対応方法を病院側が提示するなど、情報伝達(医療と介護の連携)が極めて大切であることも話されました。

参加者からは、グループワークも良かったがたまには座学でじっくり講義を聞くのも勉強になって良かった、当然のことながら手指衛生の大切さを改めて実感したので事業所に持ち帰って再度徹底したい、などの意見が聞かれ、非常に有意義な研修となりました。

講演後の質疑応答で、沢山の質問がありましたので一部紹介します。



鳥取大学医学部付属病院 千酌浩樹氏

Q: 在宅要介護者が感染症になるとデ
イサービスやショートステイは受けてもらえない事が殆どで、ヘルパーを利用する事があるが対応はどうしたらいいの
か?

A: 訪問スタッフにうつらないよう標準予防策の徹底。しびきがかか
る可能性が高い利用者であればエプロンではなくガウンの着用を。

Q: 空気清浄機や加湿器(室内に洗濯物を干すなど)はどの程度有効
なのか?

A: 空気清浄機については賛否両論あり。加湿器は、部屋の湿度が50%以上になるとウイルスの増殖能力が落ちるとい
われているのでインフルエンザにはある程度効果が期待できるが、逆にカビの発生が心配なので、加湿器のこまめな掃除も大切。

サービス付き高齢者向け住宅
花きりんハウス 東出雲



現場力!!

〒699-0111 松江市東出雲町意宇南5-4-1
TEL:0852-67-5010 FAX:0852-67-5011
ホームページ: <http://hanakirin.net>

真
明るい
ありがたい
心
で介護をお手伝いする



福祉用具レンタル・販売・住宅改修
ジョイ・ケア たいよう松江店

介護保険事業者番号 3270103090
〒699-0408 松江市宍道町昭和22
TEL 0852-67-3291
FAX 0852-67-3292



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4
TEL0852-22-3553 FAX0852-22-3555

福祉用具レンタル・販売・住宅改修

フィット
アップ
Fit up

介護保険事業者番号 3270103058

株式会社 かすみコーポレーション フィットアップ
〒690-2103 島根県松江市八雲町西岩坂1042
TEL:0852-67-3323 FAX:0852-67-6390

平成27年度介護給付適正化事業“松江市ケアマネージャー研修会”に参加して

地域密着型特別養護老人ホーム たまゆの杜 中川 秀 夫

平成28年3月5日“松江市ケアマネージャー研修会”がいきいきプラザにて開催され、龍谷大学文学部臨床心理学科教授“東豊氏”を講師に迎えての研修に参加させて頂きました。家族療法・ブリーフセラピーの考え方を、講義・DVD視聴・グループワーク・ディスカッション・事例検討等を交え、とても分かりやすく説明し教えて貰いました。自分もケアマネの経験が浅いので、御利用者・御家族と関わる中で多くの問題に直面する事があり、苦手意識も多く抱え、悩む事も少なくありません。ですが講義の中で、技術よりまずは“自分自身の心構え”であると教わり



龍谷大学 東豊氏

ました。援助者自身が勝手に相手を評価してはいけない事が重要であると言われ、実際そうであると感じました。苦手意識は自分が作り出しているという事。一度ダメだなと思いつつと苦手としか捉えられなくなり、余計に関わり難くなってしまふ。そうではなく自分の心構えをまず見直し、相手に合わせ御利用者・御家族を肯定的に捉える

事が重要であると言われ、実際そうであると感じました。苦手意識は自分が作り出しているという事。一度ダメだなと思いつつと苦手としか捉えられなくなり、余計に関わり難くなってしまふ。そうではなく自分の心構えをまず見直し、相手に合わせ御利用者・御家族を肯定的に捉える



介護保険課課長 高木博氏

事で、今までとは違った視点で問題解決を再構築するなど、この場では伝えきれない多くの手法を教わりました。

事例検討では、“あおぞら介護センター 伊藤智美氏”に発表して頂き、グループワークを行いました。講義を受けてからの事例検討で、“東氏”にコメントして頂きながらのディスカッション方式でした。自分も不思議と今までとは違った目線で考える事が出来て、他の方も様々な意見が出ました。物事の捉え方一つで全く逆の考え方に変わると改めて実感しました。否定的ではなく肯定的に捉える事は大事であると再認識しました。増々進む高齢化や介護保険の改定など時代は動いています。自分自身も固着するのではなく、相手に合わせて流動的に動き・考え、問題や人間関係などを再構築する事によって、解決に向かえるよう、自分自身が成長していかなければならないと思いました。



施設の安全衛生を守ります。
〈メディカル ケア ウォーター〉

株式会社 松江安全

島根県松江市八幡町889-1
TEL 0852(37)0009
FAX 0852(37)0000

株式会社 原商



スマイルケア

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修

栄道事業所 松江市栄道町白石81-10 TEL 0852-66-3900
松江事業所 松江市西法吉町36-28 TEL 0852-32-0294

ケアショップ レンタル
販売
住宅改修
やまさと



有限会社 山本梱包 福祉サービス事業部
〒690-0021 松江市矢田町36-1
TEL 0852-24-3563 FAX 0852-69-2096

全国介護タクシー協会会員

車椅子タクシー

ほのか

病院や施設、お買い物の送迎に御電話お待ちしております。

〒699-0203
島根県松江市玉湯町布志名637-96
TEL 0852-62-2206 FAX 0852-62-2306

薬剤師会から

松江市薬剤師会 会長 吉川 真司

介護職に携わる皆さま、なにかお薬のことでお困りのことはありませんでしょうか？地域包括ケアシステムの中に我々薬剤師も積極的に入り組んでまいりたいと思っております。

では、具体的に薬剤師が何をするのか？

- ①処方箋に基づき患者の状態に応じた調剤（一包化、無菌調剤等）
- ②患者宅への医薬品・衛生材料の供給
- ③薬歴管理（薬の飲み合わせの確認）、副作用等のモニタリング
- ④服薬の説明（服薬方法や効果等の説明、服薬指導・支援）
- ⑤服薬状況と保管状況の確認（服薬方法の改善、服薬カレンダー等による服薬管理）
- ⑥残薬の管理
- ⑦介護福祉関係者の方たちへの医薬品に関する講習などがあげられます。

松江市には80の薬局があり在宅患者訪問薬剤管理指導を行う意識のある（今のところ多少、温度差はありますが）薬局は79か所ございます。

薬剤に関する質問もどうぞ気軽にしてくださいませ。

昨年からお互いの役員同士の会合を行っております。1月の感染症に関する講習会にも薬剤師が数名出席させていただきました。介護と病院の連携だけでなく、歯科、薬剤師を含めた多職種連携を総合的に進めていき、ネットワークの構築を進めていければと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。



株式会社 **ハピネライフケア**

松江ケアセンター ▶ デイサービス（定員15名）・訪問介護
〒690-0825 松江市学園2-33-27 TEL0852-20-5115

やわらぎ西川津・松江北 ▶ 小規模多機能施設（定員43名）
〒690-0823 松江市西川津町1178-1 TEL0852-60-1245
〒690-0823 松江市西川津町734-9 TEL0852-28-3550

松江支社 ▶ 福祉用具レンタル・販売・住宅改修
〒690-0048 松江市西嫁島2-7-9 TEL0852-21-1503

福祉用具・介護用品の店

げんき堂



本店 〒692-0011 安来市安来町 1083
TEL0854-22-3652 FAX 0854-22-4222
松江店 〒690-0012 松江市古志原3-7-31
TEL0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

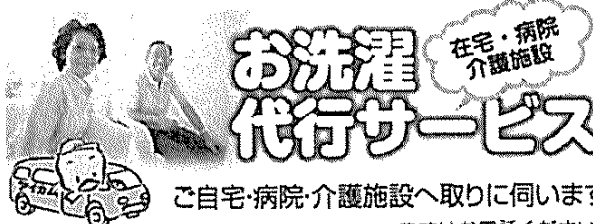
リハビリ特急便

さあ、始まる、本気の“えだクリニック”

- ✓ 出雲を拠点に雲南、大田に展開しているえだクリニックが、万を持して松江地区に！
- ✓ 松江市全域どこでも喜んで伺います。まずはお気軽にご相談を！

えだクリニック松江サテライト
住所：松江市西尾町487-1 エテルノ303号室
TEL：080-2904-2037（松江担当：石川）

働くあなたを支援！困ったときのお手伝いサービス



ご自宅・病院・介護施設へ取りに伺います！

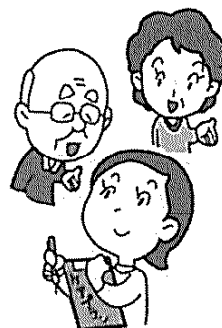
まずはお電話ください！
TEL 0120-137-656

アイカム株式会社 松江市東長江町902-53

～ 平成27年度 活動報告 ～

今年度、松江地域介護支援専門員協会は様々な委員会やシンポジウムなどに参加しました。活動をご報告いたします。組織力を活かして会員の皆さんをバックアップ致します!

- ◎第4次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会 委員
- ◎松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会 委員
- ◎松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会 認知症施策推進部会 部会長
- ◎松江市地域密着型サービス運営委員会 委員
- ◎高次脳機能障がいネットワーク会議 参加
- ◎松江市薬剤師会・松江地域介護支援専門員協会合同協議会 参加
- ◎地域包括口腔ケア会議 参加
- ◎高齢者の暮らしを支える生活支援体制づくりセミナー 参加
- ◎平成27年度松江地域医療構想調整会議 参加
- ◎平成27年度「第1回在宅医療・介護連携強化部会」参加
- ◎松江市公共施設適正化計画策定委員会 委員
- ◎島根県在宅医療推進事業 委員
- ◎島根県ケアマネジャー研究大会 研究発表
- ◎3年未満ケアマネジャー研修会 協力
- ◎松江市障がい者総合支援協議会 委員
- ◎松江圏域重症難病患者の介護支援専門員連絡協議会



入会のご案内

松江地域介護支援専門員協会は研修、共通書式等の作成、行政との連携、情報発信など様々な活動を行っています。研修会も毎回多数の方に参加いただき、職場という枠ではなくケアマネ同士という仲間意識もでき上がってきているように感じます。

医師会の先生方との連携、総合病院の相談員の方との連携などケアマネジャーには欠かせない他職種の方とのパイプも構築できています。医師会をはじめとする各種他団体、協会からも、当協会の活動に対して評価の声をいただ

いております。

当協会の活動は、会員の皆様からの会費で成り立っています。ケアマネの質の向上、連携、業務の見直しなど、今後も継続していくためにさらに多くの会員さんに加入いただき、皆様とともに松江のケアマネジャーの底力を固めていきたいと思っておりますので、是非、皆さんの周りの未加入のケアマネさんをお誘いください!

※詳しくは協会HP (<http://m-caremanager.net/nyukai.htm>) をご覧ください。

編集後記

窓から差し込む日差しがすっかりと春らしくなりました。デスクワークで座っているよりも、訪問に出かけて外の空気を吸いたくなる季節ですよね。今年も各所で桜の花が咲き、お花見が賑わっていました。「春は出会いと別れの季節」なんてよく言われますが、桜の満開の花と散り際の潔さは、別れよりも次の出会いを期待させてくれますね。春四月。今年も輝く出会いの連続になりますように。

